

たまたれ

通巻 第24号



社頭の寒桜

頌
春

宮司 竹間 宗磨

年頭にあたり、天皇皇后両陛下・皇室のご安泰、国家の平穏をご祈祷申し上げ、また氏子崇敬者各位のご安全、ご隆昌をお祈り申し上げます。昨年を顧みて、三月高良山々麓を南北に縦断する都市計画道路が新しく敷設され、当大社では、その交差点に新『社号塔』（高さ十五メートル）を建立、高良大社役員会並びに篤志家の皆様のご贊助に依つて竣工しました。

また、十月「高良山くんち」には『高良大社神幸祭』が二十年ぶりに斎行され、山麓三町の街づくり振興会並びに高良大社崇敬会が実行委員会を組織して、警察署・県土整備事務所・曹友会などのご協力の下、恙なく賑々しく執行されました。

これらは取りも直さず当大社の「ご神徳発揚」にとって欠かせない課題であります。

つまり『史跡高良山は近くて遠い神社』と称され、道案内にも困惑する有様であつただけに、新設道路は参詣者にとって利便性が増して、この社号塔が神と人を結ぶ道標たらんことを確信しています。そして神幸祭については神様の渡御という伝統的文化行事で、神人和楽の精神を醸成するものであります。

今年は、東日本大震災から満二年を迎えます。その間も余震や集中豪雨などの天災地変が列島を襲い、山内も四ヶ所余被害に遭いましたが、被災者の平穏な生活に向けての早急なる復興、復旧の実現が待されます。

あの大地震の折、世界的にも注目された日本人の精神文化が地域連帯意識、思いやり、心配り、家族の絆などといった日本人の精神の深層を呼び覚ましたのです。

一千年程昔の歴史的伝承の大切さをも知らされた思いがしました。それぞれの地域の歴史的伝統のもつ意義や長幼の精神文化は神と人を結ぶ祭祀の中でも培われたものと存じます。皆様にとつてすばらしい良い年でありますようお祈り申し上げ、ご挨拶いたします。



祭事のご案内【一月・二月】

玉替祭 一月十四日

毎年成人の日に斎行される玉替祭は、江戸時代よりの伝統行事で、宝珠を象ったみくじが、この日に限り授与されます。

午前九時より神事があり、引き続き「宝珠みくじ」の授与が開始されますが、新玉の幸運を授からんと願う方々で賑わいます。宝珠みくじ 初穂料五百円

鏡開祭 一月二十一日

昔は厄除祭と称して、厄年の方々のお参りで賑わった祭事であり、さらに境内にて祝宴が開かれていたそうです。

祈年祭 二月十七日

「としごいのまつり」と称して、四大祭の一つです。
年々お米の豊穰を祈る高良大社

神事の後、正月に御本社を始め摂末社にお供えされた鏡餅を開きます。

この日は社頭で善哉がふるまわれ、寒中厳しき中にも炭火でお餅を焼きながら善哉を食する方々の笑顔が境内に輝きます。

子の日の松神事 二月十日

遠い昔、高良の神が高良山へお入りになる際に、松を山内へお植えになられてから、お山にお移りお鎮まりになられたとの故事に由来する鎌倉時代初期より行われた伝統神事ですが、長年途絶えたものを、上津四地区（上津 本山 千束 二軒茶屋）の有志の皆様方による再興・ご奉仕により行われております。

古式ゆかしい装束姿の老若男女が上津地区より松の苗木を高良山へ植樹します。

〔祈願種目〕	
● 家内安全	● 商売繁盛
● 厄年祓	● 還暦算賀
● 交通安全	● 諸障退散
● 身体健康	● 傷病平癒
● 子宝恵授	● 安産子育
● 初宮詣	● 七五三詣
● 学業成就	● 受験合格
● 团体一万円以上	● 個人五千円以上

※その他願意も御相談下さい
※祈願初穂料 個人五千円以上

いづれの祭典も皆様にはどうぞお参り下さい。

祈願祭のご案内

一年の計は元旦にあり
歳の始めに家内安全・事業繁榮・

厄除等の御祈願をお受け戴き、此の一年が皆様にとりまして幸多き歳となりますよう御案内致します。

又お正月に限らず、月初め・年度初め、年間を通してお受け致しております。

高良の大神様は古くより厄除・延命長寿の靈験あらたかとされており、生活万般を御守護下さる神様と広く信仰されております。

生まれ年	男性	女性	
平成二十五年厄年一覧(年齢は数え年です)			
昭和二十七年	62才厄明	昭和五十一年	38才厄明
昭和二十八年	61才厄祓	昭和五十二年	37才厄祓
昭和二十九年	60才厄入	昭和五十三年	36才厄入
昭和四十六年	43才厄明	昭和五十五年	34才厄明
昭和四十七年	42才厄祓	昭和五十六年	33才厄祓
昭和四十八年	41才厄入	昭和五十七年	32才厄入
昭和六十三年	26才厄明	平成六年	20才厄明
昭和六十四年	25才厄祓	平成七年	19才厄祓
平成元年	24才厄入	平成八年	18才厄入

※厄年に限らず、厄除祈願もいたしております

謹賀新年

高良大社

代表役員
宮司

責任役員
飯筐竹間

宗磨

監査役

同川村

謙二

赤司

昌生

同大石

義明

同緒方

良人

同永渕

俊毅

同渡辺

徹也

同中島田

正徳

同黒岩

延峰

同彌永

光弘

同喜多村

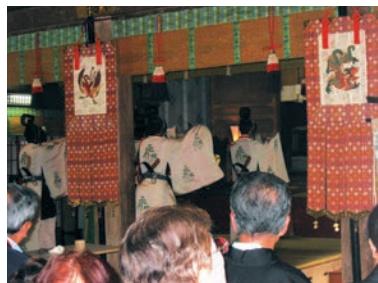
禎勇

同相談役

平田

同幸治

喜多村



宗像大社風俗舞保存会による
「主基地方風俗舞」の奉納

十月十日(水)

■崇敬会大祭 午前十時半
会員の皆様が日頃の御神恩に感謝し、さらなる大神様の御加護を祈念しました。また、境内にて筑水高校太鼓同好会による和太鼓・戸山流居合道福岡県連盟による居合道などが奉納されました。

十月九日(火)

■神生祭 午前零時
高良の大神様のご神威を新たに戴くお祭が山内にて厳粛に斎行されました。

十月九日(火)

■例大祭 午前十時半
一年で一番大きな高良山の祭典神賑として、久留米喜多流奉賛会による謡曲、高良山十景舞保存会による舞が奉納されました。また、境内にて筑水高校太鼓同好会による和太鼓・戸山流居合道福岡県連盟による居合道などが奉納されました。

十月九日(火)

■神生祭 午前零時
高良の大神様のご神威を新たに戴くお祭が山内にて厳粛に斎行されました。

秋の祭事のご報告



高良山くんち

十月九日(火)

■神生祭 午前零時
高良の大神様のご神威を新たに戴くお祭が山内にて厳粛に斎行されました。

十月十一日(木)

■観月祭 午後六時

祭典は厳粛に斎行され、神前にて、久留米喜多流奉賛会による仕舞、中の

保存会による琵琶、錦城流加藤城黙

師による吟詠が奉納されました。そ

のち、場所を境内特設舞台に移し

神賑行事が催され、参觀者が爽秋の

夜の趣を楽しみました。

柳川日吉太鼓 立正佼成会久留米教会
久遠太鼓 久留米にわか保存会
雅楽 生田流正派
日吉ぎんなん社 中
お茶席 柳川日吉神社
表千家北村宗孝社中

その他の神賑行事

九月二十三日(日)

第十二回高良山剣道大会
高良山剣道大会実行委員会

九月二十八(金)～三十日(日)
第十三回さつき盆栽趣味の会
さつき盆栽秋季展

十月九日(火)から十一日(木)
第十三回嵯峨御流生花展
華道嵯峨御流諸岡社中

十月七日(日)
古武道棒術演武
神影流心氣道
十月八日(月)

第四十二回高良山弓道大会

久留米弓道連盟

百々手式

小笠原流弓馬術礼法同門会

空手奉納演武
新極真会久留米道場

十月十四日(日)

■高良大社神幸祭
平成四年の御神期大祭から二十

年ぶりに御神輿が麓を巡行しました。
当時は、多くの参拝者で賑わいました。

大川民謡奉納
日本民謡協会大川支部
日向ひよっこ踊り
ときめき会
筑後楽(河童太鼓)
大分県耶馬溪 雲八幡宮
鼓舞の奉納
御井鼓舞



神幸祭巡行

山川招魂社秋季大祭



河童太鼓

十月二十日、兼務社山川招魂社の秋季大祭が斎行されました。当日は天候に恵まれ、権原利則久留米市長他来賓の皆様をはじめ、遺族会、地域の方々が多数参列され、盛大に秋季大祭を執り行うことになりました。大祭終了後には、英靈の前に奉納銃剣道大会が催され、気迫のこもる掛け声が響き、おみたまを和め申し上げました。

毎年十月二十日の山川招魂社秋季大祭には、英靈のご遺族だけでなく、どなたでも参列いただけます。近代日本の礎を築いた郷土の先人達に感謝の誠を捧げにお参り下さい。



高良大社 神幸祭のご報告



発輿祭を前に
宮司、武部神幸祭実行委員長、古賀・高田実行副委員長



感謝と真心からの供奉



八乙女奉仕



賀輿丁奉曳（神輿台車修理 工サキ自動車奉納）

たまたれ

去る十月十四日（日）に好天のもと神幸祭が盛大に斎行されました。この神幸祭は平成四年に斎行された五十年に一度の『御神期大祭』を縮小した形で執り行われ、高良山麓の地元三校区をはじめ多数の皆様方の御協力を得て復興されたものであります。

特に一昨年の東日本大震災をはじめとして国の内外を問わず様々な災害に見舞われ、更には昨夏には筑後地区にも豪雨被害のある中で災害復興の気概を高良山から発信すると共に、九州新幹線の

全面開通・山麓県道東合川野伏間線の開通を機に地元様相の変貌を高良神にも御覧戴くことを主眼として斎行されました。

準備としては、五年ほど前に遡り、御神期大祭（平成四年）をはじめ、過去歴代斎行の御神期大祭をも紐解き、また高良大社中世の書物である『高良記（神秘書）』の記述を確認しながらの試行錯誤の五年間でもありました。

山麓三校区（御井・山川・高良内）の篤志者による発起人会を五十日に開催し二十年ぶりに神輿

神幸祭当日は、発輿祭により一日の巡幸の無事を高良神に御願い申し上げ出発。山麓広手交差点にて隊列と合流、その後、朝妻社（味水御井神社）に於いて禊神事、王子宮・高良下宮社・高良内八幡神社三ヶ所の御旅所祭を斎行の上、凡そ二十キロの行程を巡つてから高良大社に御還り遊ばされました。

引き続き神幸祭の斎行につきましては、倍旧の御理解を賜り、五年毎の祭事を盛大に執り行えますよう宜しく御願い申し上げます。

を渡御する旨の計画を発表し、皆様方の御協力の上で今回の神幸祭が始まった次第であります。

特に国道及び県道また地域の生活道路を使用するに当たり、警察当局・福岡県久留米市観光国際課の

務所また久留米市観光国際課の

全面的な支援体制を戴き、地元の

皆様方の御理解御協力のもと無

事に斎行出来ましたことを厚く

御礼申し上げます。

神幸祭当日は、発輿祭により一

日の巡幸の無事を高良神に御願い

申し上げ出発。山麓広手交差点に

て隊列と合流、その後、朝妻社（味

水御井神社）に於いて禊神事、王子宮・

高良下宮社・高良内八幡神社三ヶ

所の御旅所祭を斎行の上、凡そ二

十キロの行程を巡つてから高良大

社に御還り遊ばされました。

发起人会を経て約百名で構成される実行委員会を三回開催し、重要な案件を一つずつ、慎重なる審議で確認及び解決しながら、少しずつ神幸祭当日に向い、また神幸祭斎行後の十一月十九日（月）には反省報告会を開催して、意見の集約と決算報告を行い、次回へ向けての話し合いがなされました。

次回の神幸祭は五年後の平成二十九年に斎行することが予定され、新たに組織される検討会を綿密に行い、祭事の準備また財政面での解決方法などを充分に話し合うこととなります。



献酒獻樽・獻饌・獻灯者芳名

(敬称略)

喜多村石油株式会社

ニシケン

大電株式会社

エサキ自動車

彌永税理士事務所

文殊保育園

木のぬくもり館

中川建材株式会社

えがみ塗装

九州防水株式会社

瑞穂錦酒造株式会社

鷹正宗株式会社

千年乃松株式会社

千年乃松酒造株式会社

合名会社山口酒造場

山の壽酒造株式会社

三井の壽

飛龍

若の壽

紅乙女

磯乃澤

萬年龜

池亀

繁樹

杜氏の詩

花の露

比翼鶴

國の寿

若波

天吹

鮮魚

野菜果物

味噌

大石みそ本店

西日本企画サービス

サクラみそ食品株式会社

衛專株式会社

木匠 中村建設

津福工業

大至産業

株式会社

久留米魚市場

天吹酒造合資会社

若波酒造合名会社

久留米青果市場

大石みそ本店

井樋建設株式会社

ブリヂストン久留米工場

アサヒコーポレーション

大石みそ本店

福岡酸素株式会社

西井塗料産業株式会社

◆ 献灯者芳名

ご崇敬各位より参道本坂両側に掲げる灯籠をご奉納戴きました。

新玉の年の初めに御神前への真心からなるご奉納を戴きました。

◆ 献酒獻樽・獻饌者芳名

新玉の年の初めに御神前への真心からなるご奉納を戴きました。

株式会社十八防災システム
最所産業

日吉フリン

角消防設備株式会社

ミスター ジョージ

株式会社金子泰大

株式会社ワイルドレジャー

菊池康男

竹間 宗廣

社号塔建立の仕上げとして、奉賛者芳名碑を設置し、玉砂利を敷き工事は完了致しました。更めて、芳名を掲載し、感謝の意を表します。

壱百萬円

実 飯籠

梅の花 梅野重俊

株式会社金子建設

株式会社梅の花 梅野重俊

株式会社金子建設

株式会社梅の花 梅野重俊

株式会社モダン 井手武治



社号塔建設工事完了 (敬称略・順不同)

芳名話世人世米獻

実りの秋を迎えて御初穂の御奉納をお世話いただきました。

(敬称略)

久留米市農業協同組合	福岡大城農業協同組合	福岡八女農業協同組合
みい農業協同組合	JJAくるめ南部支店	御井町実行組合
三潴町農業協同組合	にじ農業協同組合	御井町実行組合
JAくるめ南部支店	JAくるめ南部支店	JAくるめ南部支店
宗崎諸富善治	高良山森田久光	高良山森田久光
矢取渡辺智徳輝久	上町中島智徳輝久	府中山本正弘
1の西古賀誠一	1の東近藤嘉一郎	1の西古賀誠一
2の西家永光啓	2の東丸山工運	3の下古賀惇史
3の上丸山工運	3の上丸山工運	3の下古賀惇史
水車谷	杉谷	水車谷
柳ノ瀬内野の1	柳ノ瀬内野の1	柳ノ瀬内野の1
草場岩橋案納	草場岩橋案納	草場岩橋案納
誠一茂則秀信	義廣和裕	義廣和裕
小椎尾睦夫	小椎尾睦夫	小椎尾睦夫
古賀山本	古賀山本	古賀山本
柳	柳	柳

太郎原町代	表	合原	尾畠	鶴	川原	早田	野瀬	健勝	博昌	均	速	史郎
山川追分	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班	班
山川安居野	9	8	7	6	5	4	3	2	1	中央	中央	中央
山川町栗林	山川町本村	9	8	7	6	5	4	3	2	1	中央	中央
山川町竹の子	9	8	7	6	5	4	3	2	1	中央	中央	中央
岡英一郎	近藤義直	豊福功	豊福政美	大鶴信幸	廣田利盛	大石祐治	小楠浩義	早田啓一	野瀬健勝	鶴	川原	太郎原町代
稻吉重雄	稻吉正義	稻吉豊喜	稻吉豊功	鹿子島芳郎	鹿子島芳郎	鹿子島芳郎	鹿子島芳郎	鹿子島芳郎	鹿子島芳郎	山川町栗林	山川町本村	山川追分
矢ヶ部作	矢ヶ部作	矢ヶ部作	矢ヶ部作	矢ヶ部作	矢ヶ部作	矢ヶ部作	矢ヶ部作	矢ヶ部作	矢ヶ部作	山下省三	山川町竹の子	山川安居野
権藤猛一	権藤猛一	権藤猛一	権藤猛一	権藤猛一	権藤猛一	権藤猛一	権藤猛一	権藤猛一	権藤猛一	山本長司	山川町栗林	山川追分
稻吉鉢一	稻吉鉢一	稻吉鉢一	稻吉鉢一	稻吉鉢一	稻吉鉢一	稻吉鉢一	稻吉鉢一	稻吉鉢一	稻吉鉢一	山本長司	山川町本村	山川追分





高良山通信

(敬称略・順不同)

功労者表彰



永年に亘る高良大社への御功績を讃え、高良神に御奉告申し上げる祭事が、去る十一月二十三日(金)新嘗祭に併せて斎行されました。本年度は高良山内に壱千本の紅葉を植栽になった「㈱ワイドレジヤー」と高良山おくんちや正月に生け花展・正月神前松飾りを御奉献になつた「華道嵯峨御流」諸岡社中」の二団体に感謝状が贈られました。

㈱ワイドレジヤー
代表取締役社長 菊池 康男
華道嵯峨御流 諸岡 社中
諸岡 宏明

佳作
田中 浩一
藤本 直樹
青沼 浩美
馬場 加代子
棚町 律子

高良大社宮司賞 古賀恵美子
高良大社崇敬会会长賞 杉山 武
福岡県知事賞 堀 美子
福岡県議会議長賞 谷口美知子
久留米市長賞 川原 幸
久留米市議会議長賞 中島 正
審査委員長賞 古賀スミカ
西日本新聞社賞 飯田 剛久
高良大社賞 川津 敦子
久留米ゆめタウン賞 一富 忠
久留米ゆめタウン賞 原田 諭

第一回 高良山写真展



第1回写真展 宮司賞

須賀由貴子	須美	山下
隈輝久		隈
馬場豊		馬場
藤吉勝好		元村
東原徳雄		藤吉
平井盛	群将	東原
泉州		平井
牧野正幸	トヨ	泉州
石橋正光		牧野
田中信男		石橋
井上京子		田中
大野健男		井上
今鶴和人		大野
吉開富男		今鶴
以上五十名		吉開
一二五点		富男
		宮崎重孝
		中村公威
		高橋聖二
		新免良一
		内記京子
		鈴木秀忠
		大樹
		平原京子
		磯野良一
		大樹
		赤司一嘉
		甲斐豊
		長岡
		松林繁樹
		須賀興三郎
		緒方康彦
		須賀由貴子

今年は巳年、高良山内には巳蛇に由来するものとして白蛇塚がある。弁天さまでもあるその塚は、お花がお供えされ熱心なお参りがある。

昨年の夏は山内で蛇をよく見かけたが、一番驚いたのは、家の中に巴さんがお出ましになつた。

驚く私をよそに巴さんは平然と階段から私を眺めていた。

宇賀神という顔がお爺さんで体が蛇の神様がいらっしゃる。ちなみに栃木県には宇賀神の姓があり私の同級生もその一人。我が家の宇賀神様の御神影のお顔は厳しいが、御神酒をお供えすると、幾分微笑んだようには拜する事がある。

優しさには心が和み嬉しくなるが、ときには厳しさというのも必要である。厳しさも愛情。ある程度の齢になると叱ってくれる人も居なくなる。厳しく怖い神佛のご尊顔を押し時折ハツとする自分が居る。

(長)

鎮守の社

「たまたれ」 通巻二十四号

平成二十五年一月一日発行

発行者／高良大社社務所

福岡県久留米市御井町一番地
電話〇九四二一四三一四八九三
FAX〇九四二一四三一四九三六